

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト） 交付決定事業一覧（令和8年度第5回交付決定）

団体名			事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	北海道	長沼町	地域に関わる人を増やす、長沼町市街地滞在拠点整備事業	30,000 国費：20,000 地方費：10,000	30,000	空知信用金庫	●札幌や新千歳空港から30分圏内という地理的優位性と豊かな自然を有する長沼町には、年間200万人の観光客が訪れるが、過遊型観光が主流となっている。 ●地域おこし協力隊（R8.5月現在14名）の活動拠点や、二地域居住・ワーケーション等による関係人口の受け皿となる交流施設が不足している。 ●令和7年度から「ながぬま地域起業塾」を開催し、地域課題解決の方策の検討を進めてきた。	●地域起業塾参加者が事業主体となり、宿泊・地域交流拠点の整備・運営を行う。 ●施設の一部を、地域おこし協力隊の活動拠点や移住相談窓口、地域の情報発信・交流スペースとして使用する。 ●日本の生産量を誇る大豆をはじめとした地元食材を使用した食事を提供するとともに、地元飲食店や、タンチョウ観察など自然体験の周遊プランを提供する。	●宿泊・交流機能をもたせることにより、滞在時間と地域内消費の増加が見込まれる。 ●民間施設への地域おこし協力隊の活動拠点の整備による自治体負担の軽減 ●地域資源の活用による地域経済の活性化、関係人口の増加が期待される。
2	岐阜県	岐阜市	柳ヶ瀬ゲートウェイ拠点再生事業	30,000 国費：15,000 地方費：15,000	30,000	じゅうろく・清流まちづくりファンド 日本政策金融公庫 十六銀行	●岐阜市柳ヶ瀬地域は、かつて岐阜県随一の繁華街として賑わったが、近年は人口減少・高齢化・郊外型商業施設の進展・空きビルの増加などの課題を抱えている。 ●高齢者の孤独・孤立、市内観光拠点の低い回遊率、若者の市外流失といった地域課題への対応として、多世代交流や滞在時間・地域内回遊の改善、創業支援が求められている。	●まちの玄関口である柳ヶ瀬商店街の空きビルを改修し、宿泊・飲食・シェアオフィス・交流機能をもつ複合拠点の整備・運営を行う。 ●飲食事業では、ぎふペジ（いちごやえだまめなどの地域特産品）を活用したメニューを提供し、地産地消や生産者の所得向上を図る。 ●シェアオフィス事業では、オフィスの提供に加え、利用者と中小企業とのマッチングなどの創業支援を行う。	●来訪者や滞在時間の増加により、商店街や市内の回遊が進み、周辺店舗の利用機会が拡大。 ●創業支援やクリエイター活動により、新規事業の創出が促進され、地域の担い手の育成につながる。 ●地域製品の活用により、地域事業者と連携した地場産業の活性化、地域経済循環の拡大が期待される。
3	静岡県	焼津市	焼津鯉節等を活用したビール醸造による交流拡大・付加価値創出事業	9,000 国費：4,500 地方費：4,500	9,000	しずおか焼津信用金庫	●水揚げ金額全国1位の焼津港を有する焼津市は、BtoB構造の水産加工業を中心に発展してきたが、年々拡大するBtoC市場に対応した新たな産業や付加価値創出が求められている。 ●人口減少に伴うにぎわい喪失への対応として、市では焼津内港地区の回遊性・滞在性の確保や、観光客・交流人口の増加に向けて取り組んでいる。	●旧漁具倉庫をリノベーションした観光交流施設「焼津PORTERS」において、クラフトビールの製造・販売、体験交流事業を立ち上げる。 ●焼津鯉節、海洋深層水、志太梨、未利用果実シロップ由来の果実残渣などの地域資源を原料・副原料として活用したクラフトビールを醸造する。 ●醸造所見学やワークショップなど体験コンテンツを造成するほか、地域周遊イベントの実施、特産品を活かしたペ어링フードの開発により、地域経済循環の創出を図る。	●焼津鯉節等の水産加工品をはじめとした地域産業の成長及び市内産業全体の付加価値化に寄与する。 ●内港のにぎわい創出・観光交流客の増加に寄与する。
4	奈良県	下市町	日本庭園の「作庭体験」などの体験型古民家宿泊交流事業	30,000 国費：22,500 地方費：7,500	30,000	南都銀行	●奈良県吉野地方の中心的な市場町として発展した下市町は、歴史文化や豊かな自然を有する地域であるが、人口減少が進み、令和3年度調査では約600件の空き家が存在。 ●町の中心部には宿泊施設や地域交流拠点が不足しており、観光客や来訪者の滞在時間や地域内消費が少ない。	●古民家をリノベーションして、日本文化や作庭技術の体験ができる一棟貸しの体験型宿泊事業を行う。 ●町内で生産される木材・竹材・石材等を活用した作庭体験や、町発祥の三宝作り体験などの地域文化体験の実施に加え、地域の飲食事業者等とも連携し、宿泊・食・体験交流の一体的なサービスを提供する。	●住宅用途以外の空き家活用モデルとして示すことで、町内の空き家活用を促進 ●来訪者の増加と地域内消費の拡大が見込まれ、地元職人や飲食事業者等、地域資源への波及を通じて地域の活性化が図られる。 ●伝統的な地域文化の継承が図られる。
5	和歌山県	紀の川市	紀の川市オリジナル酵母を使用したフルーツビールの製造による農×商×観光連携事業	24,999 国費：16,666 地方費：8,333	25,000	きのくに信用金庫	●紀の川市は全国有数の果樹産地である一方、農業従事者の高齢化に伴う遊休農地の増加、多量の規格外果物が廃棄され資源が損失するといった課題がある。 ●観光面では、桃の収穫シーズンには県内外から多くの観光客が訪れるものの、体験コンテンツが少なく短時間滞在で消費が限定的であるため、市内への経済波及効果が不十分。	●紀の川市オリジナル酵母を使用した、希少性と独自性をもつクラフトビールの製造・販売、体験交流事業を行う。 ●市内で栽培した大麦・ホップを主原料とし、市内の農家から果物の規格外品を買って副原料としてアップサイクル、地域資源を最大限活用する。 ●醸造所見学や栽培から醸造までを体験できるコンテンツの造成により体験型観光を推進するほか、特産品の販売、イベント開催等により地域内消費を拡大させる。	●地元農家と連携し、遊休農地や紀の川市産農産物の規格外品を活用したクラフトビールのブランド化により、未利用資源の高付加価値化を図る。 ●栽培・収穫から醸造までを一貫して体験できる、紀の川市ならではの独自コンテンツを提供し、観光客の滞在時間を大幅に延長させる。
6	福岡県	添田町	古民家を利用した地域の集客拠点開発事業	12,000 国費：9,000 地方費：3,000	12,000	福岡銀行	●添田町は、日本三大修験山の一つである英彦山を中心に年間90万人の観光客が訪れるものの、観光客の滞在時間が短く、地域への経済波及効果は限定的。 ●地域独自の資源を活かした観光地経営やサービス提供も不足しており、外貨獲得と地域活性化の仕組みが弱い。	●築160年の古民家と囲炉裏を再生し、地域の歴史や文化に溶け込んだ囲炉裏焼き体験ができる飲食事業を行う。 ●町内で採掘されたシカやイノシシ、地域で生産された農産物、地元鮮魚店のヤマメを活用した料理を提供することで、地域資源の活用と地域経済を活性化。 ●町内で不足する観光客の受入環境の充実を図るとともに、地域住民の交流の場や働く場を創出。	●観光客の滞在時間延長により、地域内消費を拡大 ●地元食材を活用することによる地域の活性化、ジビエの活用先が生まれることによる狩猟需要の増加
7	島根県	海士町	地域を灯す分散型滞在プラットフォーム「Takari」整備事業	50,000 国費：37,500 地方費：12,500	100,000	山陰合同銀行	●海士町では、宿泊需要に対して宿泊施設が少なく、4～10月の繁忙期には受入不可となることが常態化。年間稼働率も80%超で推移している。 ●関係人口の拡大に向けて、大人の島留学などに取り組んでいるが、宿泊施設の不足が関係人口や地域内消費の拡大の妨げとなっており、受入環境の整備が課題。	●島の玄関口である菱浦（ひしうら）地区に、宿泊機能、パサージュ機能（島内への導線）、地域案内機能、小売り機能をもつ複合拠点を整備・運営する。 ●宿泊客には地元食材を使った朝食を提供し、島内の商店・飲食店や体験コンテンツの案内、島内のウォーキングガイドを実施する。 ●施設の一部には、地域住民が利用可能な小売スペースを設け、チャレンジショップとして運営する。	●来訪者の受入環境の整備により、宿泊需要を取りこぼすことなく、関係人口や地域内消費の拡大につなげる。 ●島の玄関口から島内への導線確保、島内の事業者の案内により、地域全体で経済循環を創出 ●チャレンジショップによる新事業の創出、地域活性化
8	香川県	土庄町	「Seamless Travel Experience」を提供する地域共創型ゲストハウス整備事業	19,500、うちR8:6,398 国費：13,000、うちR8:4,262 地方費：6,500、うちR8:2,131	19,500	香川銀行	●観光が町の基幹産業であるが、日帰りの滞在も多く、地域への経済効果は限定的であり、宿泊や周遊観光による滞在時間の増加が求められている。 ●公共交通が脆弱であるため、ハイシーズンには島内を十分に周遊できないほか、公共交通でのアクセスが難しい観光スポットも多く存在する。	●空き家を改修してゲストハウスを開業し、目的地までの送迎サービスを付帯した、宿泊と交通、観光体験が一体化したストレスのない旅行（Seamless Travel Experience）を提供する。 ●地元野菜やオーリーブなどをBBQで使用するほか、島内事業者の飲食店や観光・体験施設へのツアーやアテンドサービスも行う。	●宿泊や周遊観光による滞在時間の増加、観光消費額の増加 ●滞在時間の増加と行動範囲の拡大により、深い観光体験が得られ、再訪意欲の向上が期待される。 ●関係人口の拡大、移住希望者の増加が期待される。